

■証拠金取引規制に伴う取引ルール変更詳細

1. 新規建て玉時における必要証拠金

お取引いただく通貨ペア毎に4%の証拠金（レバレッジ25倍）が必要となります。新規建て玉時に預託している証拠金が必要額に満たない場合は、お取引注文は受け付けられません。実際、お取引いただく際に必要な証拠金の額については、新規建て玉時のリアルタイムの為替レートで計算され、24時間変動いたします。

【例】 次のポジションを新規に建てようとした場合、必要証拠金は35,966円となります。

通貨ペア： USDJPY
為替レート： 89.430 - 89.440
取引数量： 10,000通貨単位
売り買いの別： 買い建

当社の新ルールでは改正内閣府令に対応して必要証拠金を約定金額の4.01%とした上で、その値（円未満切り上げ）に約定時の評価損（売値と買値の差額、上の例では1pip=100円）を加算した金額を必要証拠金とします。従って、この場合は-35,966円が必要証拠金となります。

【計算式】

買値 89.440円/ドル×取引数量 10,000通貨単位 = 894,400円（約定金額）
約定金額 894,400円×必要証拠金率 4.01% = 35,865.4 ⇒ 35,866円
【35,866円】 + 評価損 100円 = 35,966円

2. 証拠金判定時刻における必要証拠金

営業日毎の一定の時刻を15時30分～35分の時間帯を「証拠金判定時刻」といたします。証拠金判定時刻における判定は、新規建て玉時のように通貨ペア毎の判定ではなく、お客様の口座全体の証拠金率（4%）で行います。15時30分に自動的にシステムが値洗いを開始し、お客様のお取引口座に必要な証拠金が預託されているかリアルタイムの取引レートで計算し、必要証拠金に満たない場合は機械的に古いポジションから順に必要な証拠金以上となるレベルまで自動的に反対売買を行い強制決済（ロスカット）いたします。お客様の口座全体の必要証拠金は、個々のポジションに必要な証拠金を合計した金額となります。計算方法は、前述の新規建て玉時と基本的には同じで、個々の計算に使用する為替レートは、判定時間帯にシステムで自動値洗いする時点のリアルタイム・レートということになります。

なお、証拠金判定時刻に行う値洗い時に、取引システムを一時的に中断することはございませんので、判定時間帯においても、全体証拠金率で4%以上であれば新規にポジションを建てることができます。

3. 証拠金判定時刻以外の時間帯における必要証拠金

証拠金判定時刻以外の取引時間帯においては、お客様の口座全体の証拠金率で2%未満になると強制ロスカットが発動されます。基本的には従来のロスカットルールと同じコンセプトであり、証拠金維持率(=純資産÷利用証拠金)が50%未満になると、証拠金維持率が100%を回復するまで古いポジションから自動的に反対売買され、強制決済(ロスカット)となります。

以上